

資料1

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日



一般財団法人機能水研究振興財団

理事長 堀田 國元



令和3年6月

令和2年度事業活動の概要

令和2年度(2020年度)は、堀田國元代表理事(理事長)、菊地憲次(常務理事・事業担当)、本間茂(常務理事・財務担当)、10名の理事(石井良和、石渡幸則、岩澤篤郎、川口寿之、小室昭、佐藤勉、丹波章彬、野田衛、藤原功一、森澤紳勝)、2名の監事(八木澤守正、宮下奈穂)の役員体制、および事務局3名(中藤誉子、福島宏和、齋藤典子)体制で事業運営を行った。事業活動に関しては、公益目的支出計画の達成を念頭に、事業計画・予算に基づいて実施した。以下にその概要を示すが、中でも調査研究事業の成果として、「ダイヤモンド電極を用いた機能水センサーの事業化」に向けた経済産業省補助金事業、管理業務、また、普及促進事業における新分野、コロナ禍における次亜塩素酸水ブームによる誤解を払拭するため機能水シンポジウム2020の開催、さらに(公財)レイ・パストゥール医学研究センターとの事業提携(特に生物安全実践講習会)を実施したことが特筆される。

令和2度事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

1. 理事会・評議員会・委員会等活動

1) 理事会

2回開催：通常2回(第13回6月10日、第14回3月17日)

2) 評議員会

1回開催：定時1回(第7回6月12日)

3) 委員会

① 飲用アルカリ性電解水評価委員会：

アルカリイオン整水器検討委員会委員がコアとなって構成し、アルカリイオン水の作用機序その他に関する助成研究受託者による成果報告と討論。

・研究検討委員会：新型コロナ感染症の影響により中止

・研究成果発表：2回(第78回・第80回ウォーター研究会)

② 次亜塩素酸水生成装置JIS化委員会：

・経済産業省および日本規格協会経由問合せ対応

・日本規格協会新市場創造型標準化制度活用JIS制定後の市場拡大支援事業協力

・日本品質保証機構 プライベート認証システム広報

③ 内視鏡洗浄消毒器委員会：「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」対応

④ 賛助員会合：1回(2月)；普及促進事業報告、調査研究事業報告、新規事業支援・検討

⑤ 機能水広報委員会：戦略的広報のあり方等について議論

2. 研究助成事業

1) アルカリイオン水の作用機序に関する研究

① 東村 泰希（石川県立大学 准教授）

分子状水素溶存アルカリ性電解水が腸管バリア機能へ及ぼす効果検証と食餌組成の関与について

② 佐藤 勉（東海大学医学部 教授）

アルカリイオン水の口腔保健学的有用性の検証—含嗽による口腔清掃効果と疾病予防効果の検討—

2) アルカリイオン水の生理作用に関する研究

① 小山 勝弘（山梨大学大学院総合研究部・教育学域・人間科学系 教授）

アルカリイオン水が伸張性収縮運動後の筋パフォーマンスに及ぼす影響—疲労抑制効果と回復促進効果—

3) 酸性電解水(次亜塩素酸水)に関する新規用途に関する研究

① 渡辺 香織（愛知文教女子短期大学）

食物アレルゲンに対する酸性電解水の除去効果

3. 調査研究事業:

<共同企画研究>

① 機能水の抗ウイルス効果の評価と施設内衛生管理への活用評価

高木弘隆(国立感染症研究所安全実験管理部主任研究官)

② 酸蝕防止のためのアルカリイオン水含嗽による中和効果の検討

荒川真一(東京医科歯科大学大学院教授)

③ 次亜塩素酸水を活用した空間浄化に関する研究

機能水研究振興財団賛助員会議機能水工業部会ほか

④ <研究協力>ダイヤモンド電極を用いた機能水センサーの実用化

経済産業省補助金(サポイン)事業: (株)コスマテクノ担当事業の管理業務協力

4. 普及促進事業活動

事務局が主体となって以下の活動の企画・実施、あるいは支援を行った。

1) 自主活動

① 研修会3回(6月東京、10月東京、3月東京)

② ニュースレター刊行: 定例6回(No.97~100)、号外2回

③ 各種既出版物の頒布

④ コンサルティング

・生成装置等開発・販売に関する相談業務(賛助会員:無料 一般企業:有料)

・公共団体、一般等からの機能水に関する各種問合せへの対応

2) 特別会員等活動支援

① 日本機能水学会: 会員管理、理事会・総会(6月)

・機能水シンポジウム 2020(10月東京:日本薬学会長井記念ホール)

② ウオーター研究会:

・セミナー共催: 第78回(2020年6月東京)、第79回(2020年10月東京)、第80回(2021年2月 東京)

③ 日本口腔機能水学会: 第22回学術大会(京都)後援

④ ルイ・パストゥール医学研究センター: 機能水研究に関する活動支援、

・生物安全実践講習会共催(8月)

- ⑤ アルカリイオン整水器協議会：幹事会 6 回/年、広報委員会 6 回/年、広報活動(HP 等管理)
- ⑥ 微酸性電解水協議会：総会 1 回(6 月；新型コロナ感染症の影響により書面総会)
- ⑦ 日本電解水協会：電解水ウイルス不活化試験補助

3) 対外活動

① 展示会・講演会など

- ・4月：ifia JAPAN 2020 新型コロナ感染症の影響により中止
- ・6月：食品産業文化振興会緊急特別(第 261 回)セミナー：NITE 次亜塩素酸水の有効性評価発表を踏まえて
- ・8月：第 94 回日本感染症学会学術講演会基調講演3：“機能水”の科学/化学と感染制御への活用
- ・12月：日本電解水協会セミナー：コロナ禍における次亜塩素酸水(酸性電解水・電解次亜水)の対峙戦略

② 本・雑誌執筆

- ・食品工場長：6 月号緊急企画「新型コロナウイルス対策を考える～アルコール消毒の代替手段～」
次亜塩素酸水による手洗い法の効果と留意点／次亜塩素酸ナトリウムと次亜塩素酸水
- ・月刊 HACCP9 月号・養豚情報 9 月号：新型コロナウイルスと次亜塩素酸水～誤解と混乱を解くために
- ・食の安全と微生物検査(食の安全を確保するための微生物検査協議会)：技術レポート No.16
殺菌性機能水一次亜塩素酸水を中心に一
- ・軟包装衛生協議会会報：次亜塩素酸水の基礎知識と手洗い等への活用における効果と留意点

5. 組織および規定

1) 役員・評議員：以下の役員(理事・監事)および評議員からなる執行体制(令和 2 年 7 月 12 日登記)。



【評議員】15 名

北洞哲治、川村延彦、吉田秀博、鈴木鐵也、才原康弘、古米 保、酒井眞一、富田 守、堀 晋司、
岸本武利、小宮山寛機、伊藤斎、荒川真一、田原周夫、吉川敏一

【理事】13 名

代表理事：堀田國元(理事長)
理事： 菊地憲次(常務理事)、本間茂(常務理事)、森澤紳勝、藤原功一、岩澤篤郎、石井良和、
丹波章彬、佐藤勉、野田衛、小室昭、川口寿之、石渡幸則

【監事】2 名

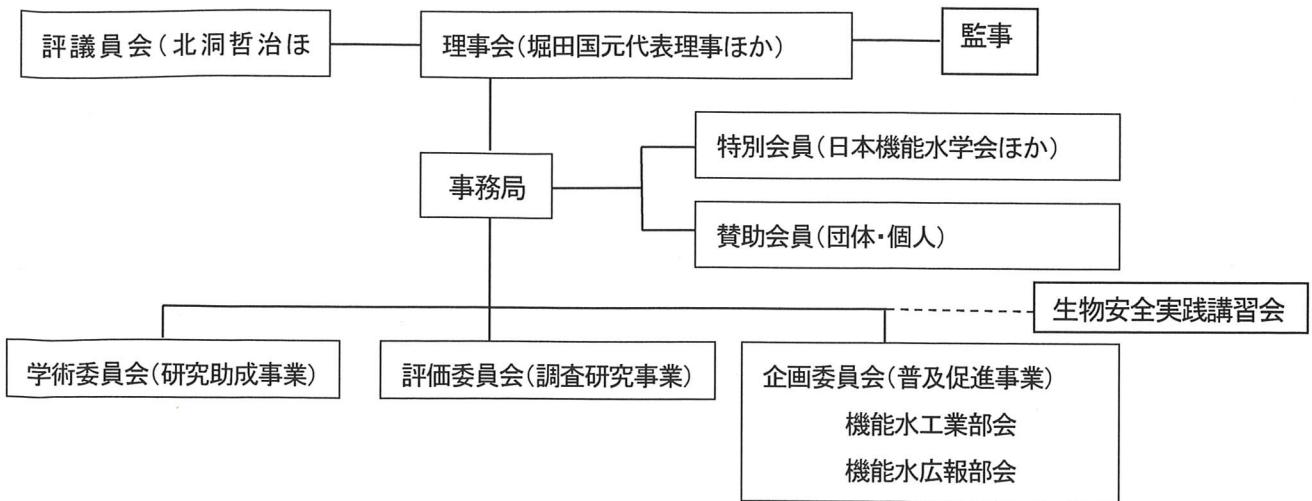
八木澤守正、宮下奈穂

2) 事務局体制

堀田國元(理事長)、本間茂(学術担当)、秋山(中藤)誉子(事業担当)および福島宏和(会計担当)の4名体制で業務に当たり、適宜、理事会・監事による指導を受けた。

3) 賛助会員および特別会員

- ① 賛助会員：令和 2 年度中 1 社退会、16 社入会、令和 3 年 3 月末で団体 52 社、個人 11 名。
- ② 特別会員：令和 2 年度中 1 団体入会、令和 3 年 3 月末で 6 団体(日本機能水学会ほか)。
- ③ 機能水工業部会：企画委員会(普及促進事業)につながり、「空間浄化プロジェクト」などプロジェクト毎に
関係賛助会員による委員会を構成し活動。
- ④ 機能水広報部会：企画委員会(普及促進事業)として、関係賛助会員による委員会を構成し活動。



以上

